



令和2年2月3日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部  
総務広報課長

### 2019年度「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」成果発表会の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、キャリア教育の一環として平成17年度より「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」を実施しています。本プログラムは、将来、社会でリーダーとしての活躍を期待される宮大生の企画する力、実施する力を高めるとともに、学生ならではの自発的かつ積極的な活動を通して、本学から発信した活性化の波を広く地域につなげていくことを目的とした、宮崎大学独自の学生支援事業です。

平成30年度からは「特定地域枠」が新設され、今年度は西都市と五ヶ瀬町の地域活性化を目指したプログラム5件を合わせた合計15件のプログラムを実施しました。予算総額は650万円です。当日は、ポスターセッション形式により学生が活動成果を発表します。

つきましては、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載して頂くとともに、取材していただきますようお願いいたします。

敬具

#### 記

開催日時 2月27日(木) 10:00 ～ 12:00

場 所 宮崎大学木花キャンパス 330記念交流会館コンベンションホール

対 象 ご興味のあるすべての皆様

参加費 不要

※詳細は別紙をご覧ください

#### ① 問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課キャリア支援係

TEL : 0985-58-7796 FAX : 0985-58-7974

MAIL : syusyoku@of.miyazaki-u.ac.jp

#### ② 発信元

宮崎大学企画総務部総務広報課

TEL : 0985-58-7114 FAX : 0985-58-2818

# 2019年度

どなたでもご覧いただけますので、お気軽にお越しください。

# 「とっても元気！」

# 宮大チャレンジ・プログラム」

## 成果発表会

日時：令和2年2月27日（木）

10:00～12:00

ポスターセッション形式で行います

（12:00～15:00はポスター展示のみ）

会場：宮崎大学330記念交流会館  
コンベンションホール（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）

VRオープンキャンパス

めざせ日本一！ミートジャッジプログラム！

見る！学ぶ！守る！宮崎の動物たち！！

アクティブ宮大生図鑑&マッチング企画

郷土の魅力発信ツール：さかなのまちのゆるキャラカルタ

化学の魅力広め隊～クロロフィルスライム～

もっと宮崎の企業を知ってもらおう！～わくわくフェス～

目指せポッチャ金メダル！～宮崎の選手よ 世界へ羽ばたけ！！～

宮崎の砂浜を綺麗にしよう！

宮崎の農家を火山灰から守れ！これで火山バイバイ！

特定地域枠（西都市枠）

西都の恵みを科学の力で発信！

宮大出張コンサートin西都

山村留学生交流会&YTG

スポーツ交流を通じた障害理解啓発と障害者の社会参加促進

特定地域枠（五ヶ瀬町枠）

GO! GO! GO・KA・SE発信隊～ごかせっ子とPR大作戦！～



お問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課キャリア支援係

TEL:0985-58-7796 E-mail:syusyoku@of.miyazaki-u.ac.jp

2019年度「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」採択15企画の概要

No.	企 画 名	代表学生所属	概 要(各企画の企画書より)
1	VRオープンキャンパス	工学研究科	本企画では、最近低価格化し、より身近となっているVR技術を用いて、地図情報を360°見渡すことができるマップシステムを提供する。また、普段は外に出ることが出来ない入院患者の方々にVRを体験して頂くことで、実際に映像の場所に行ったような感覚を楽しんでもらう。
2	めざせ日本一！ミートジャッジプログラム！	農学部	宮崎といえば地鶏、宮崎牛であるが、宮崎大学といえば〇〇というものがない。そこで我々は、全日本大学対抗ミートジャッジング競技会でのNo.1を目指し、宮崎大学として誇れるものを作ろうと考えた。定期的に講習を行い、食肉処理場での実践を踏まえてオーストラリアで行われる世界大会を目指す。
3	見る！学ぶ！守る！宮崎の動物たち！！	農学部	巣箱に無線カメラを設置し、撮影された画像をビジターセンターなどで上映する。絶滅が危惧される希少動物も含め、普段目にできない野生動物の行動や生態を動画で捉え、一般の方々へアウトリーチすることで、宮崎県の動物や自然環境についての知識や興味を育み、動物や自然環境の保全につなげる。
4	アクティブ宮大生図鑑&マッチング企画	農学部	面白い人(明確な意思と目的をもって主体的に行動している人)、または自分のビジネスを持っている宮崎大学生の活動やその背景を取材し、その内容を冊子や掲示など様々な形でその他学生に届ける。さらに、そのアクティブな学生の後押しができるよう、大学生の需要と、アクティブな学生のもつ強みの供給のマッチングを行い、具体的なアクションの場を提供する。
5	郷土の魅力発信ツール:さかなのまちのゆるキャラカルタ	農学部	宮崎県北部門川町の魚図鑑に掲載された魚類約500種の写真とそれをモデルにデザインした各魚類のゆるキャラを使った「門川おさかなカルタ」を製作し、児童・生徒を対象としたカルタ大会を開催することで、「さかなのまち」としての郷土の魅力を、未来を担う若者たちへ浸透させると共に、多様なゆるキャラによる門川町の知名度上昇の基盤を形成する。
6	化学の魅力広め隊〜クロロフィルスライム〜	農学部	本企画は、小さい子供から高校生を対象に、野菜から色素抽出スライムを着色する「クロロフィルスライム」に関連した実験を行い、物性の変化や原料、反応のメカニズム、光の波長と吸光の関係などについて化学的に考察する。本企画を通して子供や高校生だけでなく本学の学生、地域の方々、幅広い年代の方々にも、「化学」の魅力を改めて知ってもらい、「化学」に関する正しい知識や技能を養成する。
7	もっと宮崎の企業を知ってもらおう！〜わくわくフェス〜	地域資源創成学部	本プログラムでは、小学生を対象とした職業体験イベントを行い、仕事をする楽しさや大変さ、また県内企業についてこんな企業があるということを知ってもらうことによって、県内就職率の低い我が県の県内就職率の増加、働くことの楽しさを伝えることを目的としている。
8	目指せポッチャ金メダル！〜宮崎の選手よ 世界へ羽ばたけ！！〜	工学部	本企画は宮崎の選手の個人用具を作成し選手の支援を行うことで、練習に集中しやすい、競技力の向上を促す環境の提供などの、障害者支援を行っていくプログラムである。またポッチャの広報活動や、イベントを開催することで、障害のある方々をより深く理解していくことを目標とする。ポッチャをプレイしやすい環境作りと広報活動を行うことにより、全国大会上位入賞、2020年東京パラリンピックを目指す。
9	宮崎の砂浜を綺麗にしよう！	工学部	宮崎には美しい砂浜が広がっており、夏には海水浴客やサーファーが集まり賑わっている。また、宮崎はウミガメの産卵地としても有名である。しかし、宮崎では台風の接近や生活ゴミの漂着などにより砂浜には毎年大量のゴミが漂着している。本企画では、宮崎の大事な観光名所である砂浜の景観を維持することを目的とする。
10	宮崎の農家を火山灰から守れ！これで火山バイバイ！	工学研究科	宮崎県にある新燃岳が2018年3月に噴火した。この噴火で農家の方々は、農作物に大きな被害を受けた。火山灰の脅威から工学部での経験を生かして農家の方々を救いたいと考えた。今回はビニールハウスの火山灰除去に向けた機器の製作を行う。
西都市1	西都の恵みを科学の力で発信！	農学研究科	本プログラムでは、科学の目で、西都の恵まれた気候で育まれた農産物が有する機能を見て、その結果を社会に発信することを通じて、地域の活性化に貢献したいと思えます。アピールポイントは西都の農産物をいくつかの項目で評価し、科学的根拠に基づいて試作した加工品を実際に地域の方に提供し、評価してもらう点です。
西都市2	宮大出張コンサートin西都	農学部	宮崎大学吹奏楽部から子どもから年配までの方々と触れ合う機会を多く設けているが、それは宮崎市内に限られていた。そこで、より多くの方々が音楽を通して触れ合うことができるようなイベントを開催することで、西都市の地域活性化への貢献を目指す。
西都市3	山村留学生交流会 & YTG	地域資源創成学部	人口減少が著しい銀鏡地区における「山村留学生の増加」および「柚子収穫における労働力の確保」という主に2項目の課題を解決するため、夏と冬においてイベントを企画し、銀鏡地区に人を呼び込むきっかけをつくるという企画。夏には西都市内の小中学生を対象に、山村留学生とともにレクリエーションを通して山村留学とはなにかを知ってもらう。冬にはゆず収穫を競技化し、参加者の多くに柚子を収穫させることで課題解決を目指す。
西都市4	スポーツ交流を通じた障害理解啓発と障害者の社会参加促進	教育学部	西都市民体育館を会場として、近隣の特別支援学校の児童生徒と西都市の小・中・高等学校の児童生徒とのスポーツ交流イベントを開催する。このイベントを企画・実行することで、障害のある児童生徒の余暇活動と社会参加の充実及び普通学校の児童生徒の障害理解促進が期待される。加えて、このような障害理解啓発活動を推進することは、西都市民全体にとっても共生地域の構築に貢献することにつながると言える。
五ヶ瀬町1	GO! GO! GO! KA・SE発信隊〜ごかせっ子とPR大作戦！〜	教育学部	五ヶ瀬町では、児童・生徒が町の魅力をPRする活動や地域課題の解決策を考え、提案する活動などに取り組んでいる。教師をめざす私たちは、その活動への支援をすることを通じて教師としての指導力を高めるとともに、五ヶ瀬町の魅力をPRするために学園祭にて「五ヶ瀬町ブース(仮)」を出店し、五ヶ瀬町の案内や特産品の販売を行う。